

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成27年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・健康で明るい子ども
- ・よく考えて判断できる子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・ねばり強く進んで実践する子ども

【子どものスローガン】 「つよく やさしく かしい子」

2 学校経営の理念

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれ、児童の心を動かす教育活動を展開するとともに、「安心して通うことのできる学校」「自分の力を発揮できる楽しい学校」「きまりを守り互いに尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼される学校」を目指した学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針

【古里地域学校園教育ビジョン】

児童生徒一人一人に、将来の夢や希望を持たせるとともに、「学ぶこと」、そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

(1) 健康で明るい子どもを育てる

- ・自らあいさつをしたり発言したりする態度の育成
- ・発達の段階に応じた基本的な生活習慣の定着
- ・食の大切さについての意識の高揚と日常的な運動量の確保
- ・命の大切さを感得させ豊かな感性を磨く指導や体験的活動の充実
- ・きまりの意義の理解促進と規範意識の高揚

(2) よく考えて判断できる子どもを育てる

- ・基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得
- ・主体的な言語活動の充実による、思考力、判断力、表現力の向上
- ・適度な家庭学習等とおした、学ぶ習慣の定着と学習意欲の向上
- ・学習内容に応じた学習形態の工夫及び振り返り活動の充実
- ・互いに授業を見合い切磋琢磨し考え合える教職員集団づくりの推進

(3) 思いやりのある子どもを育てる

- ・児童の言動等へのきめ細かな対応と、教職員自身の言動に関する意識の高揚
- ・命の大切さを感得させ、危険への予知能力や判断力を身に付けさせる指導の充実
- ・互いの意見や考えを尊重し合いながら切磋琢磨する雰囲気醸成
- ・「いじめ防止基本方針」に基づくいじめ防止の徹底及び人権意識の高揚
- ・異年齢集団での活動の推進

(4) ねばり強く進んで実践する子どもを育てる

- ・深い児童理解と、一人一人のよさが生きる教育活動の推進等による自尊感情の高揚
- ・児童自身が立てた目標を実現できる機会の充実
- ・自力で困難を克服する経験を積ませることなどによる挑戦意欲の高揚
- ・創意工夫しながら課題を解決する機会の充実等による、主体的な対応力の向上

- ・自分の将来を思い描いたり生き方について考えたりする機会の充実
- (5) 開かれた学校づくりを進め、地域に根ざした教育活動の推進に努める
 - ・家庭や地域との連携をとおした、児童の健全育成を共に図る雰囲気醸成
 - ・学校公開や広報活動の充実等による、学校の教育活動への理解促進
 - ・地域の教育力を活用した教育活動の充実
 - ・小中一貫教育に関する具体的取組の推進等、異校種との連携の強化

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は、文頭に○）

- (1) 学校運営
 - ・児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、困難に立ち向かうたくましい児童の育成
- (2) 学習指導
 - 基礎・基本の定着と、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- (3) 児童生徒指導
 - 自他の人権を尊重し生き生きと自己表現できる児童の育成 ・きまりを守り、互いに協力し合う児童の育成
- (4) 健康（保健安全・食育）・体力
 - ・積極的に運動に取り組む児童の育成
 - ・自他の健康や安全を意識し、考えて行動する児童の育成

5 学習指導、道徳教育（児童生徒指導）、健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくりに関する取組

- (1) 育てたい資質・能力
 - ・主体的に物や人と関わり、自ら課題を解決しようとする意欲
 - ・自他の生命を尊重し、感性豊かで思いやりのある態度
 - ・自ら運動に取り組もうとする態度
- (2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には文頭に◇）
 - ◇あいさつ運動（児童会による「朝のあいさつ運動」）
 - ◇高学年のリーダーシップ育成と異学年の教え合い助け合い（縦割り班活動、縦割清掃、等）
 - ・朝の読書活動や図書館司書による読み聞かせ
 - ・保護者や地域ボランティアの積極的活用（図書修繕、授業）
 - ◇琴や尺八の演奏体験、茶道体験等、動物の飼育（うさぎや魚、昆虫等）
 - ◇なかよし花壇での花栽培と教材園での野菜栽培
 - ◇福祉体験（アイマスク、点字、車椅子、手話、高齢者疑似、盲導犬などの各種体験）
 - ◇幼稚園児（生活科）や高齢者（昔遊び、グランドゴルフ等）、子供会連合会との交流
 - ・安全教室（NTT、セコム等）や出前授業（カルビー、東京ガス、大塚製薬等）の実施

7 本市の重点施策・事業と関連する取組

- (1) 「小中一貫教育・地域学校園」に関する取組
 - ・学習内容定着度調査の正答率向上を目指し、基礎的な内容の徹底、習熟度別学習の効率化
 - ・児童会並びに小中学校、地域が連携した「あいさつ運動」の実施
- (2) 「地域とともにある学校づくり」に関する取組
 - ・地域協議会の活性化
 - ・安全対策委員会や安全ボランティアとの連携による「安心して通える学校づくり」の推進
- (3) 「宮っ子心の教育」に関する取組
 - ・他者への理解、思いやりの心を育むための高齢者や幼児、異学年交流の推進
 - ・道徳推進教員を中心とした研修会の実施

(様式2)

校 種	①小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	------------------	------	-----	-----	-------------

平成27年度 学習指導に関する取組

1 学習指導上の主な実態

(1) 学習内容定着度調査などから

- ・ 国語では、漢字の読み書きについて、前学年で習ったものの正答率が低い傾向が見られるが、繰り返し練習して良好だという学年もあり、努力していく。読むことについては、資料と文章を関連付けながら読むことや、登場人物の心情の読み取りに課題があるので、改善を図る。書くことについては、指定された字数や段落構成に気を付けて書くことなどを指導してきた結果、良好な学年もあったが、相手に分かりやすく自分の考えを書くことや、表現を工夫することなどについては、努力が必要である。関連して、児童の語彙が少ないという課題もあり、辞書の活用や例文作りなどを進めたい。
- ・ 算数では、とちぎっ子学習状況調査で3位数×2位数(繰り上がりあり)の筆算(4年)や、あまりのあるわり算(5年)、小数のひき算(5年)などの正答率が低かった。まず、基本的な計算の習熟を図る必要がある。次に、量と測定の領域では、 $1\text{ m}^2=100\text{ c m}^2$ という誤答がとても多かった(5年)ので、面積は 1 c m^2 がいくつ分あるかで表されるという基本を、徹底して指導する。定着度調査では、分速を時速で表す問題、三角形の高さが図形の外側にある面積の求積(6年)などの誤りが多かったので、こうした問題を留意して指導していく。図形の領域の学習結果は毎年良好なので継続したい。なぜそうなるのかなどの理由を図や式、言葉などで説明する学習にも力を入れているが、まだ十分ではない。必要な事柄などを落とさず、相手に伝わるように書いたり話したりできる力を育てていく。
- ・ 社会科は、統計資料や写真、図などからの読み取りの指導に力を入れる。都道府県名や近隣の諸外国名と位置などを覚えることにも力を入れてきた。学んだことからどう考えるのかなどの社会的な思考・判断・表現力の育成も重視していく。6年生は、社会が好きな児童の割合が市の平均を約5ポイント上回っているので、ぜひ継続できるようにしたい。
- ・ 理科は、実験器具の扱い方の理解や結果の考察の記述に課題がある。虫眼鏡の使い方(4年)、空気中の水蒸気の様子(5年)、子どもが生まれるまでの日数(6年)の理解などに課題があったので、改善を図る。3～6年生は、理科が好きな児童が多く、その割合がすべて市の平均を上回っているので、継続できるように努力する。
- ・ 学習全般を通して、言語活動の質的向上を図り、話し合い活動を活性化させるため、答えが一つではない問いを与えるなど、教師の発問や指示を工夫する。

(2) 学習と生活についてのアンケートなどから

- ・ 教科の好き嫌いは学年によって異なる。道徳は低学年で、会話科(ことばの時間)が複数の学年で、好きという肯定割合が市よりやや低い、高い学年もあり、指導について学年間で情報交換をして、児童の学習意欲を高められるようにしていく。4月のとちぎっ子学習状況調査では、家庭での学習時間が短く、テレビやビデオを見る時間、ゲームをする時間が長いという傾向が出ていたが、12月の定着度調査では改善されてきた様子が窺える。宿題の出し方を工夫したり、家庭との連携を図ったりしながら、今後も望ましい習慣が定着するように努力していく。平日、読書をする時間は市と同程度である。様々な方策で読書を推進し平均読書冊数が13.6冊と増えてきたので、継続・発展させる。

(3) 授業等への取組状況から

- ・ 児童へのアンケートでは、授業の始まりに着席していると答えた肯定割合が市より少なかった。授業始めや終わりの挨拶をしっかりと行うことと同時に、指導に力を入れていく。繰り返し学習して定着を図ることも十分とは言えないので、一度学んだことを再確認させる機会を設定したり、テストの問題をやり直しさせたりして、既習事項の習熟を図る。個人差への対応として、少人数指導の実施などと共に、机間指導を細かく行うなどして児童一人一人の学習状況を把握し、支援や集団へのフィードバックを行う。

2 今年度の重点目標

- ・ 基礎・基本の定着と、言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

(1) 基礎・基本の確実な定着

- ☆ 学習内容定着度調査などから分かる児童の実態を基にした学習指導の改善や工夫（通年）
- ☆ 朝の学習や授業における漢字・計算の繰り返し練習や、強化月の設定による学力の向上（4・5月、12月、通年）

(2) 学習指導の工夫・改善

- ☆ 「学習の約束」や「ノートの取り方」を生かした学習指導（4月、9月、通年）
- ☆ めあてを明確にし、学習の実感がもてる「分かる授業」の展開と、学習内容や思考過程を振り返る活動の実施（通年）
- ☆ 習熟度別学習、少人数指導、T・T指導、目的を明らかにしたグループ学習などの学習形態の工夫による授業の活性化（通年）
- ☆ 学ぶ意欲や課題意識を高めるような教材や資料の準備、学習と生活との関連を分かりやすく提示し、児童が主体的に学習に取り組める支援の工夫（通年）
- ☆ 児童の思考力・判断力・表現力を育てるための教材や教師の発問の工夫、話合いや文章でまとめる場の設定（通年）

(3) 読書活動の充実

- ☆ 朝の読書の時間の充実（週3日、通年）
 - ・ 創意ある校内読書週間や親子読書会の企画・実施（10・11月）
 - ・ 本の紹介や児童が読みたくなる展示の工夫、環境の整備、家庭での読書の推進（通年）

(4) 道徳教育、人権教育の充実

- ☆ 生命尊重、思いやりの心、感謝の心の育成（通年）
- ☆ 教職員の人権教育観の深化と人権感覚の高揚への共通理解（通年）
- ☆ 価値の明確化や魅力ある資料による道徳の時間の充実（通年）

(5) 家庭・地域との連携・協力

- ・ 適切な分量・内容の宿題の実施とその活用、家庭学習の習慣化の実現、地域学校園で作成した「家庭学習のすすめ」の効果的な活用による家庭学習の充実（通年）
- ☆ 保護者会において、各種学力調査の結果を生かした学習指導や家庭学習の大切さの説明、協力の依頼（7月、2月）
- ・ 保護者や地域の人材、地域の教育資源を有効活用した教育活動の充実（通年）

(様式3)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成27年度 児童生徒指導に関する取組

1 児童生徒指導上の主な実態

(1) 問題行動等調査から

- ・暴力行為をする児童はほとんどいない。また、嫌な思いをしたことはあるが、いじめを継続的に受けている児童はいない。教育相談やアンケート、ケース会議等を定期的実施することにより、早期発見、早期対応に努めている。
- ・長期欠席の児童は一人もいない。学年の協力体制に加え、校内の支援体制を整え、安心して登校できる環境づくりを心がけている。
- ・Q-Uでは、要支援群の児童が何人か見られる。

(2) 学習と生活についてのアンケートなどから

- ・ほとんどの児童があいさつや返事の大切さについて感じているが、学校や家庭であいさつをしている児童は、市の平均と比べると低い傾向にある。特に、地域でのあいさつの肯定割合が低い。ただ、「いつでも」「どこでも」「だれにでも」あいさつをするように指導し続けてきたことで、進んでするあいさつする子が増えてきている。
- ・学校生活のきまりやマナーを守って生活しようとする規範意識は高い。しかし、実際には十分に実践力が身に付いているとは言えない。
- ・家の人と一緒に過ごすことが楽しいと感じており、家庭が悩みごとを相談できる場になっていると言える。
- ・ほとんどの児童が言葉づかいに気を付けて生活していると感じている。しかし、友達に対して乱暴な言葉づかいをしたり、教師に敬語を使えなかったりする児童も目立つ。

(3) 学校生活の状況から

- ・明るく元気な児童が多く、休み時間には好んで外遊びを行っている。また、優しい児童が多く、困っている友達がいると進んで手助けしようすることができる。
- ・指示されたことはきちんとできる児童が多い。しかし、自分で考えて行動するような主体的な態度までには至っていない。
- ・身の回りの整理整頓ができなかったり、忘れ物や落し物が多かったりするなど、基本的な生活習慣が身に付いていない児童が多く見られる。
- ・特別支援を要する児童が増えてきている。

2 今年度の重点目標

- ・自他の人権を尊重し生き生きと自己表現できる児童の育成
- ・きまりを守り，互いに協力し合う児童の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

（1）お互いのよさを認め合い，尊重しあえる人間関係の醸成

☆あいさつ運動の日常的な実施と年3回の強調期間の設定（強調期間：5月，10月，1月）

☆縦割り班活動や縦割り清掃などによる異年齢集団での活動の推進（通年）

☆総合的な学習による福祉体験活動の充実（11月，2月）

☆朝の読書タイムや学級文庫の充実（通年）

- ・Q－Uを生かした学級経営（通年）
- ・掲示物を生かした「人権コーナー」の設置（通年）
- ・北小タイムにおけるクラス遊びの推進（随時）

（2）主体的な態度や生き生きと自己表現できる児童の育成

- ・児童主体による委員会活動の取組（定期的）
- ・運動会，校内ウォークラリー，6年生を送る会における全校体制による取組（5月，6月3月）
- ・コミュニケーション能力の育成を意識した授業の実施（通年）

（3）基本的生活習慣の育成

☆「生活のやくそく」「学習のやくそく」の掲示や配付による活用（通年）

☆月別による生活目標の設定とクラスごとによる振り返りの実施（通年）

☆時と場に応じた適切な言葉づかいの実践の継続（通年）

- ・学級懇談会や各種便り，連絡帳を活用した保護者との連携（通年）

（4）「いじめ防止基本方針」に基づくいじめ防止の徹底

☆いじめゼロ強調月間におけるいじめ防止の取り組みの充実（5月，10月）

☆いじめアンケートを活用した実態把握（月に1回）

☆いじめにかかわる内容を含んだ道徳の授業の実施及び公開（5月，10月）

- ・いじめ・不登校対策委員会を機能させた組織的な対応（随時）
- ・職員間の共通理解を図るための「情報交換会」の実施（月に1回）
- ・教育相談の実施（6月，12月）となんでも相談ポストの設置（随時）
- ・地域学校園内の小・中学校が連携した取り組み（定期的）
- ・Q－Uを活用した事例研究会の実施（8月）
- ・欠席相当日数が7日を超えた児童への「欠席・支援状況チェックシート」の活用（随時）

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号		学校名	宇都宮市立	学校
-----	-----------------	------	--	-----	-------	----

平成27年度 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

1 健康（保健安全・食育）・体力に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・本校児童の身長・体重はすべての学年で全国平均程度であるが、やや下回っている項目が多い。高学年に進むにつれて、やせ気味の児童が多いのも特徴である。肥満傾向児童については、高度肥満は0.2% 中等度肥満が0.9% 軽度肥満が1.9%となっている。また、やせすぎの児童も0.2%いる。
- ・本校児童の低視力の割合はやや多く、学年が上がるにつれて増加している。また、女子の低視力児童が多い。う歯未処置者は全体では3.5%と大変低い。
- ・体力テストは市の平均値と比較して、概ね同じようであるが、学校全体として反復横跳び、シャトルランは比較的優れており、全身持久力や筋力の良さが目立つ。反面、50m走や上体起こしが低く、特に低学年にその傾向が多い。さらにスポーツ実施時間は週3日以上が多く週1～2日以上の子が次いで多い。1日の実施時間は2時間以上の児童も30分以下の児童も同程度であり、運動経験の個人差が大きく、運動能力の差も大きい。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートなどから（食育を含む）

- ・朝食の摂取率は全学年90%以上と大変高いが、わずかではあるが朝ごはんを摂取してこないという児童もいる。
- ・市平均と比較して、就寝時間が遅い傾向にある。食後の歯磨きなどは良く身に付いている児童が多い。

(3) 授業や健康安全・体育的行事等（食育を含む）への取組状況から

- ・各単元の中、水泳・持久走・なわとび等において、がんばりカードや検定表を用い意欲や達成感を体験させるように行っており、児童はめあてをもって、取り組むことができている。また、投力・鉄棒・泳力・なわとび運動においては、うつのみやげんきっ子プロジェクトミニマムで学年の実態を把握するように努めている。
- ・体育的行事においては一人一人が先を見据えて、充実した、楽しさのある活動になるよう工夫されているため、積極的に取り組む児童が多い。

2 今年度の重点目標

- ・積極的に運動に取り組む児童の育成
- ・自他の健康や安全を意識し、考えて行動する児童の育成

3 今年度の取組（「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

（1）望ましい食習慣の育成

お弁当の日の3校統一，また内容の統一を行う。

☆朝食の摂取についての実態調査から実態把握を行う。（6月）さらに，実態調査に応じ良い朝食の取り方について指導する。（随時）

☆給食月目標の提示をする。（毎月）

☆献立表，給食だよりの発行をする。（毎月）

- ・毎日の献立解説や説明を校内放送で行う。（通年）

- ・お弁当給食，交流給食の実施（9月，10月，11月，12月，1月）をする。

（2）健康・体力の向上

休み時間の外遊びの奨励と，その工夫（通年）

児童会による，運動的なイベントの実施をする。（通年）

☆元気っ子プロジェクトの「ミニマム」や「元気っ子チャレンジ」の効果的活用をする。

地域園独自の9年間を見通した水泳カード作成の検討をする。

☆運動領域ごとの補強運動の導入をする。（通年）

☆運動領域ごとの全校生の実態調査をする。（7月，2月）

- ・水泳検定及び大会の実施をする。（7月）

- ・持久走大会の実施をする。（12月）

- ・なわとび検定及び大会の実施をする。（2月）

歯科指導の年間計画作成と歯磨き指導の継続化をする。

☆保健だよりの発行をする。（毎月）

- ・歯ブラシ点検の実施をする。（6月，11月，2月）

- ・薬物乱用防止広報車の活用をする。

☆地域安全マップの作成とその活用をする。（通年）

- ・交通安全教室（各学年1時間）

- ・インフルエンザ等に対しての手洗い・うがいの励行をする。

- ・インフルエンザ等に臨時休業についての情報の提供や公開の推進をする。

- ・校内の環境整備の強化・・・清掃，奉仕作業，職員作業の実施をする。

（3）家庭・地域との連携

☆保健だよりの発行をする。（通年）

- ・薬物乱用防止広報車の活用をする。

☆安全ボランティアによる下校指導をする。（通年）

☆保護者同行の下校指導をする。（通年）

☆スクールガードチーフと連携した防犯避難訓練の実施をする。（10月）

- ・保護者による安全対策会議をする。（5月，10月，随時）

- ・保健師による2年生「命の授業」の実施をする。

☆献立表，給食だよりの発行をする。（毎月）

(様式5)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成27年度 校内研修（研究）計画及び管理主事・指導主事等の訪問要請計画

1 研究主題

主体的に考え表現できる子どもの育成 ～自分の考えを整理してまとめる力の向上を目指して～
--

2 研修（研究）年間計画

月	内容及び方法	□○ ◇◎印	要請する教科等 及び時期
4	・学校経営計画,「学習指導」「児童生徒指導」「健康（保健安全・食育）・体力」に関する取組と,校内研修（研究）計画の検討		
5	・学校課題解決のための仮設,方策,研究組織等の検討と共通理解 ・児童指導研修会		
6	・心肺蘇生法講習 ・研究授業の指導案検討（学年及びブロック）		
7	・第1回授業研究会（要請訪問） ・学力向上改善プランの検討,QU調査結果からの研修,情報メディア教育研修,特別支援教育研修等	○ ◎	国語科 7月上旬 (c)教職員の服務等に関する研修 7月下旬
8	・各種年間指導計画等の見直し		
9	・児童作品評価研修		
10	・研究授業の指導案検討（学年）		
11	・研究授業の指導案検討（ブロック） ・人権教育研修		
12	・第2回授業研究会（要請訪問）	○	国語科 11月下旬
1	・研究授業の指導案検討（学年及びブロック） ・第3回授業研究会		国語科
2	・研究のまとめ（成果と課題の分析） ・学力向上改善レポートの検討		
3	・次年度の研究についての検討		

- ※ 管理主事,指導主事等の要請時期については,月日を指定せず「○月中旬」等と記入する。
- ※ 各種教育の研究として指導主事等を要請する場合は,内容及び方法の欄や教科等の名称の下に,各種教育の名称等を記入する。
- ※ □○◇◎欄には次のとおり記号を記入する。
- : 「授業力向上プロジェクト」としての研究に関する要請訪問
 - : 学校単独での研究に関する要請訪問
 - ◇: 国県市の指定による研究に関する要請訪問
 - ◎: 作成要領2の(3)イ(ア) bに該当する要請訪問

(様式6)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 7	学校名	宇都宮市立岡本北小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

平成27年度 学級担任及び各教科等担当者一覧

1 学級担任等

学 年	組	氏 名	学 年	組	氏 名
1	1 主	渡邊 光恵			
1	2	安藤 頼子			
2	1 主	渡邊 なぎさ			
2	2	佐藤 亜紀			
3	1 主	滝田 道子			
3	2	鈴木 正弘			
4	1 主	菊地 浩子			
4	2	茅嶋 秀明			
5	1 主	小川 史子			
5	2	平石 知子			
6	1 主	竹之内 孝二			
6	2	佐野 夏望			
	特(自・情)	金井 理			
	言通	渡 宏一			

※ 学年主任については、4月1日付けで学校教育課教職員Gへ提出した「主任等の承認について」との整合を図り、組の欄に「主」または学級番号と「主」を記入する。

※ 学級を担任しない副主任及び副担任等が学年に所属している場合には、学年・氏名とともに、組の欄に「副主」または「副」を記入する。

※ 特別支援学級（知的障害，肢体不自由，難聴，自閉症・情緒障害），自閉症・注意欠陥多動性障害通級指導教室，言語障害通級指導教室については，それぞれ「特（知）」，「特（肢）」，「特（難）」，「特（自・情）」，「自通」，「言通」を組の欄に記入する。

2 各教科等

教 科 等	担 当 者 氏 名 ※主任には○印
国 語	○佐野 夏望 茅嶋 秀明
社 会	○青木 幹寿 鈴木 正弘
算 数・数 学	○渡邊なぎさ 竹之内孝二
理 科	○茅嶋 秀明 栗原 隆史
生 活（小）	○安藤 頼子 佐藤 亜紀
音 楽	○菊地 浩子 佐藤 亜紀
図 工・美 術	○渡邊 光恵 安藤 頼子
体育・保健体育	○鈴木 正弘 小川 史子 金井 理
技 術（中）	
家 庭	○滝田 道子 平石 知子
外 国 語（中）	
道 徳	○菊地 浩子 渡邊なぎさ 佐野 夏望
総合的な学習の時間	○竹之内孝二 滝田 道子
特 別 活 動	○小川 史子 滝田 道子 安藤 頼子
会話科 ことばの時間（小）	○茅嶋 秀明 安藤 頼子 渡 宏一
会話科 英会話の時間（小） （外国語活動含む）	○安藤 頼子 茅嶋 秀明

3 各係等

係	担 当 者 氏 名 ※主任には○
学校食育（学校給食）	○滝田 道子 江連 俊明 菊地 浩子
学 校 保 健	○阿由葉克子 鈴木 正弘 小川 史子
学 校 安 全	○金井 理 茅嶋 秀明
性 教 育	○阿由葉克子 鈴木 正弘 小川 史子
学校図書館教育	○佐野 夏望 大島 久美
情報メディア教育	○平石 知子 茅嶋 秀明 鈴木 正弘
宮っ子心の教育	○菊地 浩子
教 育 相 談	○小川 史子 竹之内孝二 阿由葉克子 S C M（小川 史子） 不登校対策担当（竹之内孝二）
特 別 支 援 教 育	○金井 理 渡 宏一 阿由葉克子 特別支援教育コーディネーター（金井 理）
人 権 教 育	○鈴木 正弘 佐藤 亜紀
国 際 理 解 教 育	○安藤 頼子 茅嶋 秀明
キ ャ リ ア 教 育	○青木 幹寿 竹之内孝二
小 中 一 貫 教 育	中学校小中一貫教育推進主任（ ） 小学校小中一貫教育推進担当（ 青木 幹寿 ）
地 域 連 携 教 員	○浪花なをみ

※ 教育相談の欄には、S C M及び不登校対策担当を明記する。

※ 特別支援教育の欄には、担当者として特別支援学級担任、通級指導教室担当者及び特別支援教育担当者を記入する。その中で、特別支援教育コーディネーターを担当するものを所定の箇所に明記する。

※ 小中一貫教育の欄には、小学校は推進の要となる担当1名のみ、中学校は小中一貫教育推進主任1名のみの氏名を所定の箇所に明記する。